

## 東院庭園観月会2014

9月27日に「東院庭園観月会2014」を催しました。昨年11月に続いたの2回目となります。

今年も、奈良パークホテルの協力を得て、宮廷料理「天平の宴」の品の中から、蘇(乳製品)や黒米・赤米、楚割(魚肉を細長く切って干したもの)、脯穴(干し肉)に白酒(にごり酒)を用意しました。

当日は、松村所長の挨拶に始まり、第1部は、ゲストの奈良大学教授上野誠先生の著書である『小さな恋の万葉集』から撰んだ5首を、先生にご解説いただくとともに、所長の飛び入り参加を得て、考古学と恋の歌という対談も実現しました。また、馬場主任研究員が古代食について、小野副所長が東院庭園の発掘から整備についてのミニ講演をおこないました。

第2部では天平衣装のファッションショーと雅楽の調べでおもてなしをしました。ファッションショーは、天平3年(731)に時代を設定し、聖武天皇・光明皇后・藤原麻呂・坂上郎女の登場に始まり、命婦4名をしたがえた阿部内親王が最後を飾りました。雅楽は雅楽演奏家の太田豊氏ほか4名の方々に、雅楽寮の官人に扮してもらい、太平楽等4曲を演奏していただきました。

今年は、開催を9月としたことで、屋外イベントにふさわしい気候で皆様に楽しんでいただけたと思います。来年以降も、より練度の高い会を目指して準備を進めていこうと考えております。

最後になりましたが、土曜日の夜にも関わらず、多くの方々のご協力をいただいたことを、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

(企画調整部長 杉山 洋)



観月会衣装絵巻「天平三年の人々」